

2022年9月20日発行

22-38号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**良くなっても**

秋の夜長と言われる季節になりました。暗くなるのが早いので、照明が必要になります。最近は、エネルギー効率もよく、運用コストもかからないLED照明が普及しています。ところで、このような照明が、生態系の混乱や天体観測への悪影響を及ぼす「光害」となっているという記事がありました。

LDE照明はブルーライトが多いのですが、このブルーライトの害が注目されているということです。そこで、研究チームが衛星センサーにより収集されたデータではなく、「国際宇宙ステーション(ISS)に搭乗した宇宙飛行士がデジタル一眼レフで撮影した地球の写真」を用いた分析を行ったということです。さまざまな国の夜間の照明の色を見比べると、2012年から2015年、2020年になるに従って、写真の照明の色が変わっています。変化の度合いは、国によってまちまちですが、どこの国も青い色、白い色が増えています。そのような写真の分析から、研究チームはLED照明の普及に伴う青色光の増加がヨーロッパ全土に「本質的な生物学的影響」をもたらすと指摘していて、また、過去の研究は青色光による影響を過小評価しているとも主張しているということです。これまでの研究では、青色光が人間や動物の睡眠パターンを調節するメラトニンの生産に影響を及ぼし、睡眠を悪化させて慢性的な健康問題を引き起こす可能性が示唆されているそうです。さらに、青色光はコウモリやガといった夜行性の動物の行動を変化させ、生態系にも影響することが指摘されているということです。

このような結果から、「私たちは人間だけでなく、より広い生物学的な観点から照明について考えるべきです」「照明の質を高めて光の強度を下げれば、経済的コストも下がると同時に無脊椎動物にとってより安全な環境になります」という意見で記事は終わっていました（9月16日GIGAZINE＜急速なLED照明の普及で「人間と動物に害が及ぶ危険性がある」と研究者が警告＞）

人々は、なんとかして便利で良い暮らしになるように、さまざまな研究を続けています。そして、LEDのような低コストでエネルギー効率の良いものを開発しました。ところが、その開発によって、コストは抑えられたのに、別の面で良くないことが出て来ます。いま、記事が言っているように、ブルーライト対策をしても、また、別の問題が出て来そうです。便利で良い暮らしを追求するのが悪いということではありません。それは、とても良いことなのですが、実は、根本的な問題を解決していない以上、どんなに便利さや良さを求めても、ほんとうの解決にはならないということです。いったいほんとうに人間に必要なのはなにであって、どんな生活が人間には必要なのか、その根本のことについて、いっしょに見てみませんか。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください